

コロナ禍における実態調査

株式会社 C B コンサルティング
事業開発支援部
2021.3.4

Strictly Confidential

1．目的

先行きが見通しづらいコロナ禍における、病院およびクリニック経営の実態調査を行い、医業経営の実情を正しく世間に周知する。
他院の課題や取り組みを共有し、自院の経営戦略に活用いただく。

2．調査期間

令和3年2月9日～令和3年2月25日

3．調査対象

全国の病院およびクリニック

4．調査方法

株式会社CBコンサルティングが名刺交換を行った病院関係者へメールにて依頼

5．回答状況

集計病院数：32病院

集計クリニック数：8クリニック

（病院規模内訳）

300床以上：5病院

200床～299床：5病院

100床～199床：14病院

100床未満：8病院

集計結果（病院）

集計法人数：32病院

（内訳）

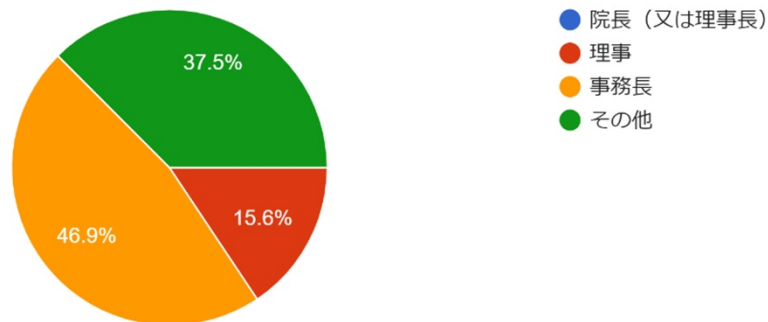
300床以上：5病院

200床～299床：5病院

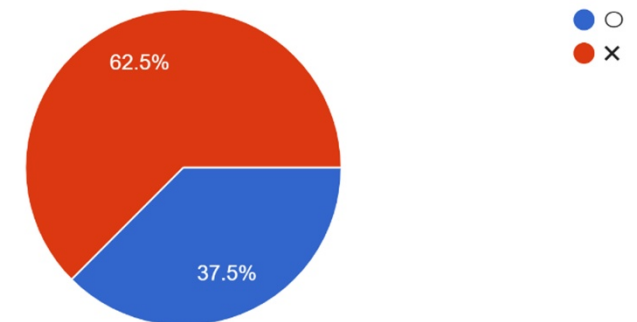
100床～199床：14病院

100床未満：8病院

役職をご選択ください
32件の回答



貴院は新型コロナの患者を受入(又は受け入れ準備を行い)ましたか？
32件の回答



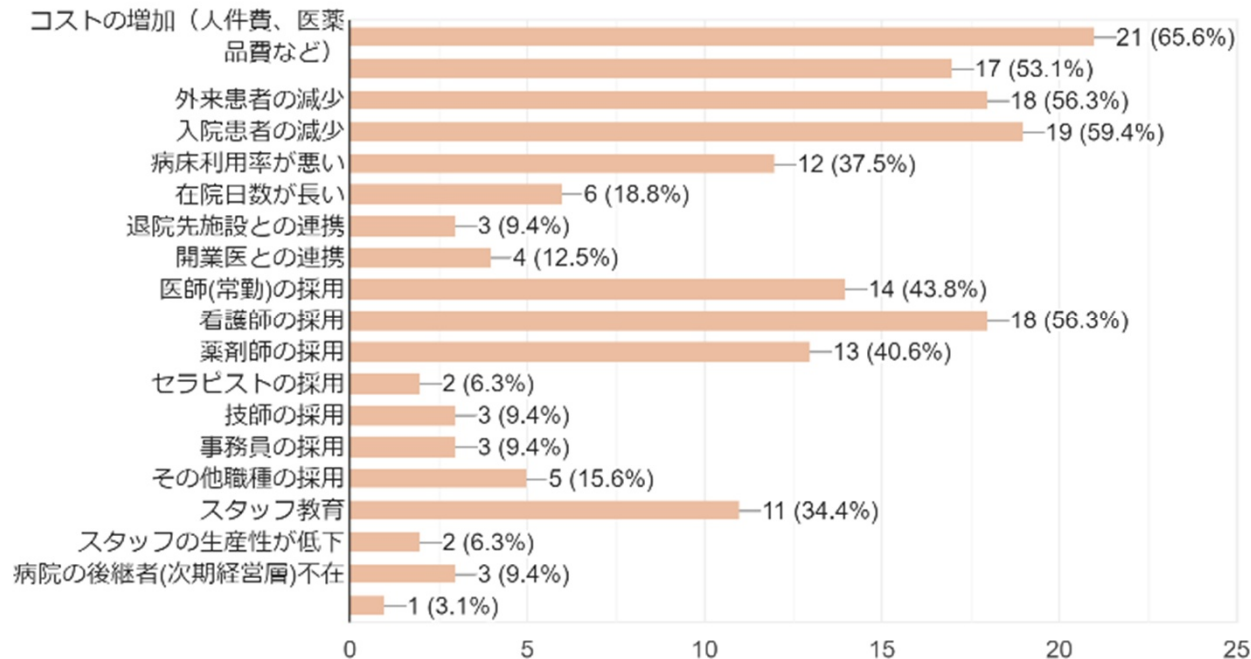
集計結果（病院）



CB | CONSULTING

現在、課題と感じていることはなんですか？

32件の回答



課題として一番多かったのが「コストの増加（65%）」。
次いで「入院患者の減少（59%）」「外来患者の減少（56%）」となる。

またそのような減収減益の流れの中でも、人員補充が引き続き必要なことが確認され、
このまま行けば更なるコスト増加へと繋がることが予想される。
（医師、看護師、薬剤師の採用が課題と回答した割合は、それぞれ44%,56%,41%）

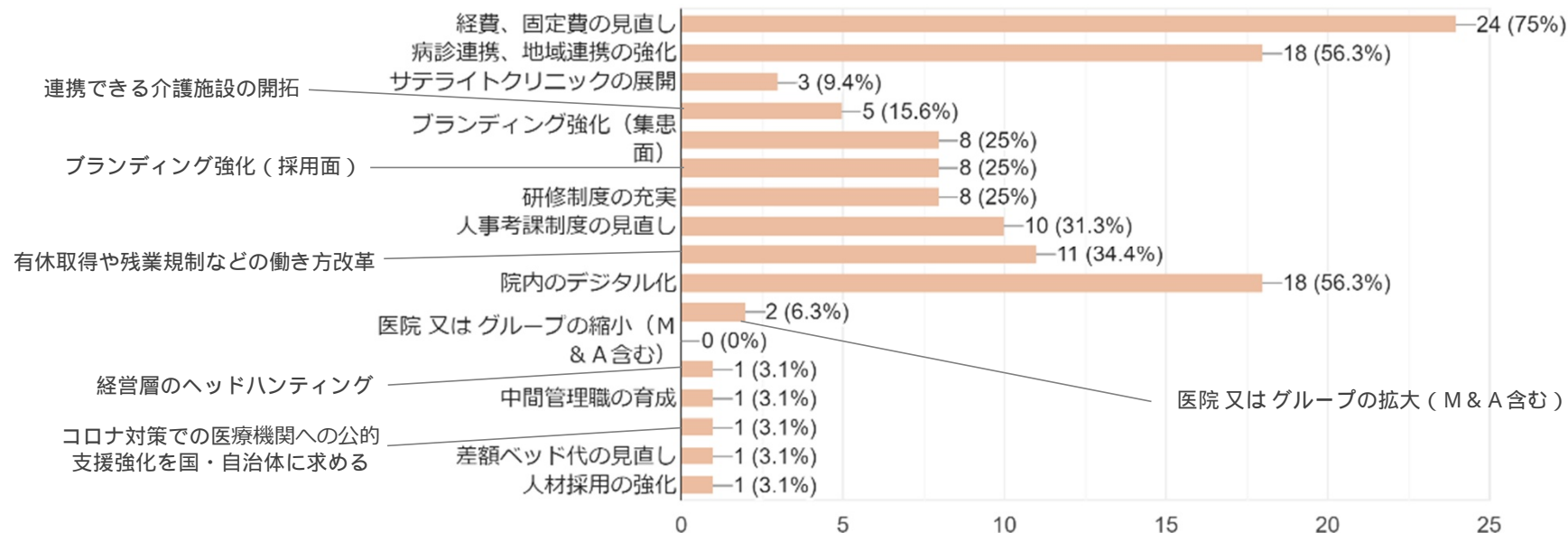
集計結果（病院）



CB | CONSULTING

現在取り組んでいる対策をお答えください

32件の回答



「経費、固定費の見直し」は75%の病院が実施。

「院内のデジタル化（DX）」を進める病院も56%確認でき、コストを抑え効率性や生産性を上げる動きが強まっていることが確認できる。また「病診連携・地域連携の強化」に回答頂いた割合は56%と、こちらも高く、多くの病院が患者獲得の動きを強化していることが推測される。

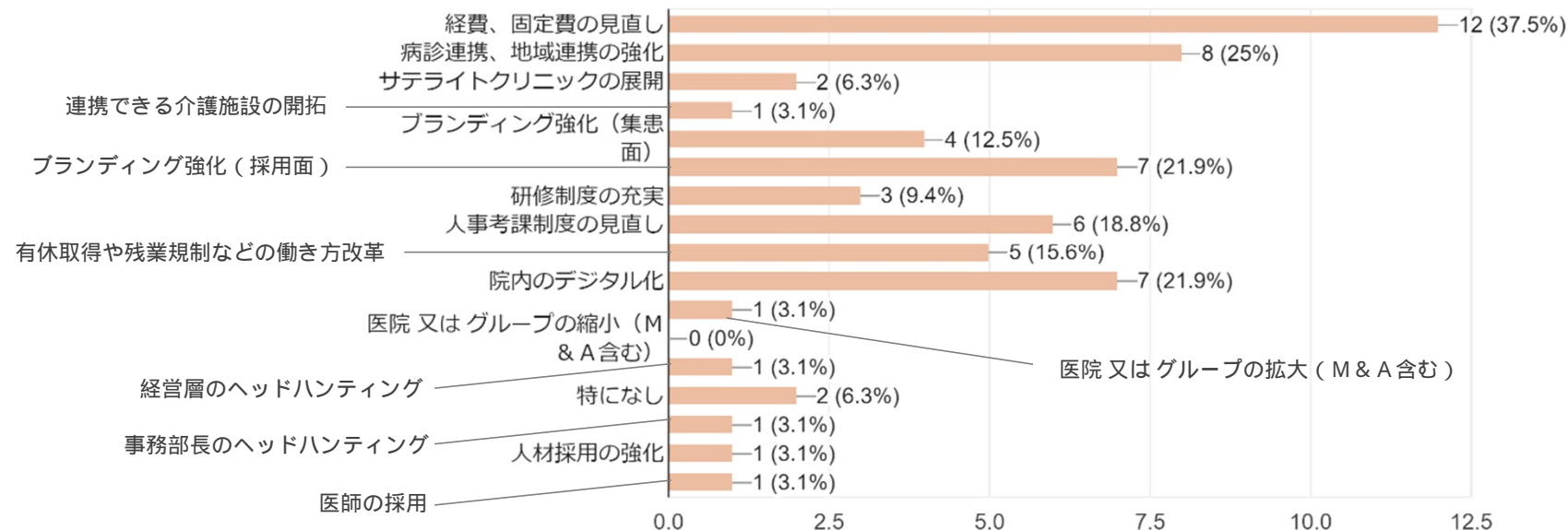
集計結果（病院）



CB | CONSULTING

取り組みを予定している。又は、取り組んでいるけど進捗が芳しくない対策をお答えください

32件の回答



「経費、固定費の見直し」を予定しているが未着手、又は芳しくないのは全体の37%。

対策案を出せていない病院が多数であることが予想される。

次いで「病診連携・地域連携の強化（25%）」「院内のデジタル化（22%）」「ブランディング強化（22%）」と続く。

上位に入ったこちらの項目は、既に取り組んでいる対策で回答いただいた上位項目とほぼ一致。

このことから、対策として取り組んでいるものの、進捗が芳しくないことが予想される。

病院規模別で見ると、180床以上の病院は「病診連携・地域連携の強化」に多く回答している傾向にある。

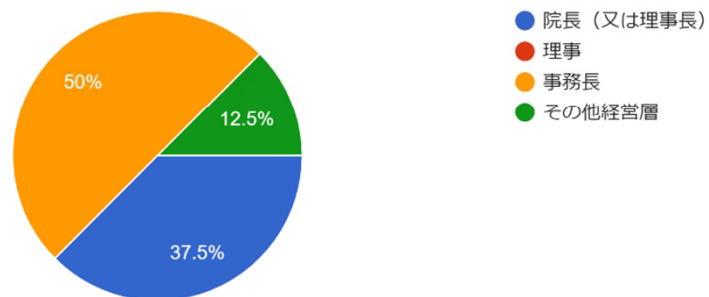
また「ブランディング強化」は採用面・集患面ともに、200床以上の病院が回答の大半を占める。

「働き方改革」は、180床以上の病院が回答の大半を占める。

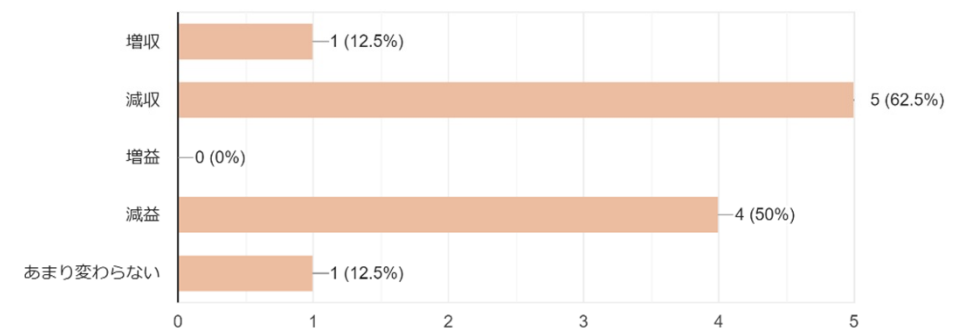
他は病院規模による大きな差異は見当たらない。

集計結果（クリニック）

役職をご選択ください
8 件の回答



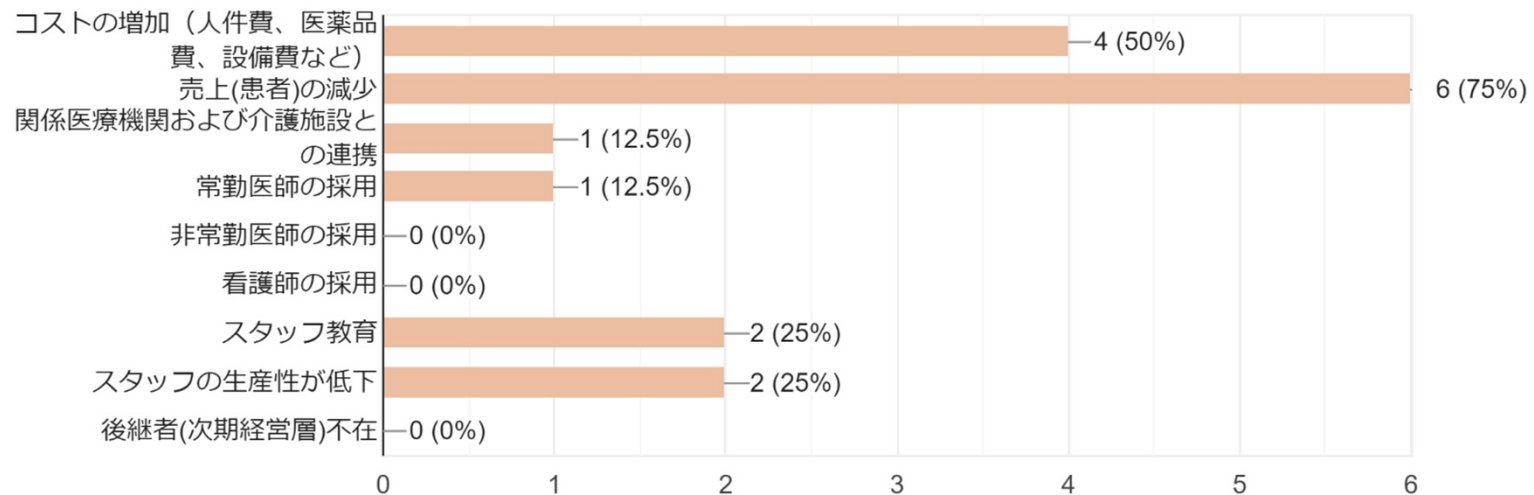
新型コロナにより経営状況に変化はありましたか？（昨年対比で）
8 件の回答



集計結果（クリニック）

現在、課題と感じていることはなんですか？

8件の回答



「売上(患者)の減少」が課題と回答したのは全体の75%で第一位。
次いで「コストの増加」が50%。病院同様に高い回答率となる。

一方、採用ニーズは低く人員は不足していない傾向。
むしろコロナ禍による患者減少で過剰な人員体制になり、
「スタッフの生産性が低下」が一部で生まれていることが予想される。

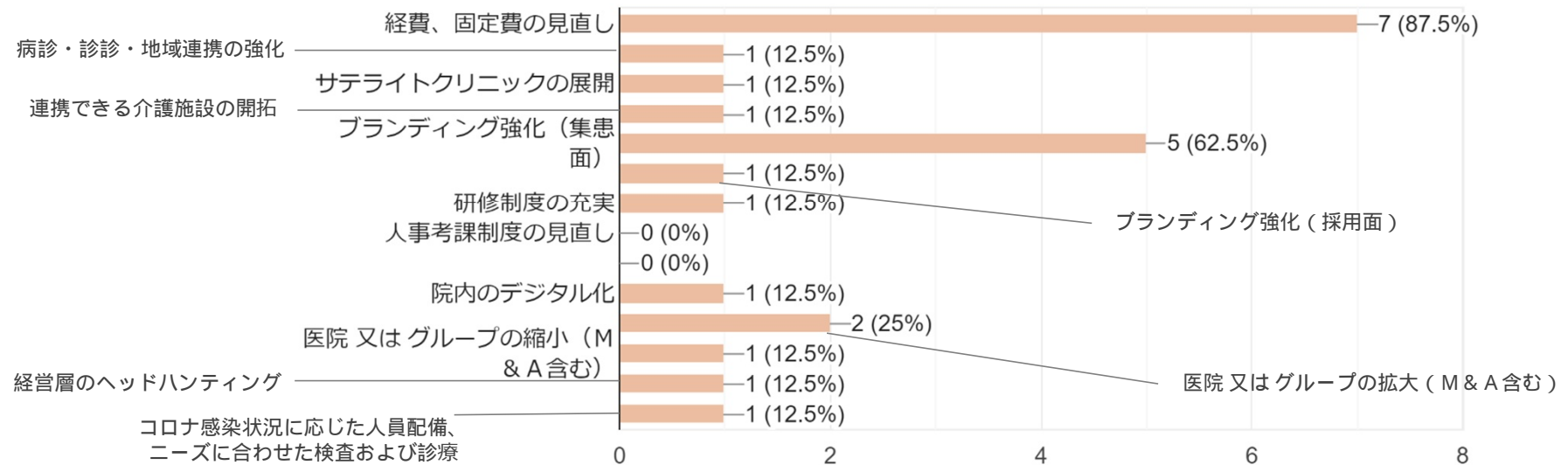
集計結果（クリニック）



CB | CONSULTING

現在取り組んでいる対策をお答えください

8件の回答



「経費・固定費の見直し」が87%、「ブランディング強化（集患面）」が62%と高い。
他は低水準であることから、この2点に焦点が絞られていることが確認できる。
またブランディング強化（集患面）が高い回答率である一方、
「病院・診診・地域連携」の回答率は低い。

大半のクリニックが横のつながりには期待せず、
独自の活動で集患対策を行っていることが予想される。

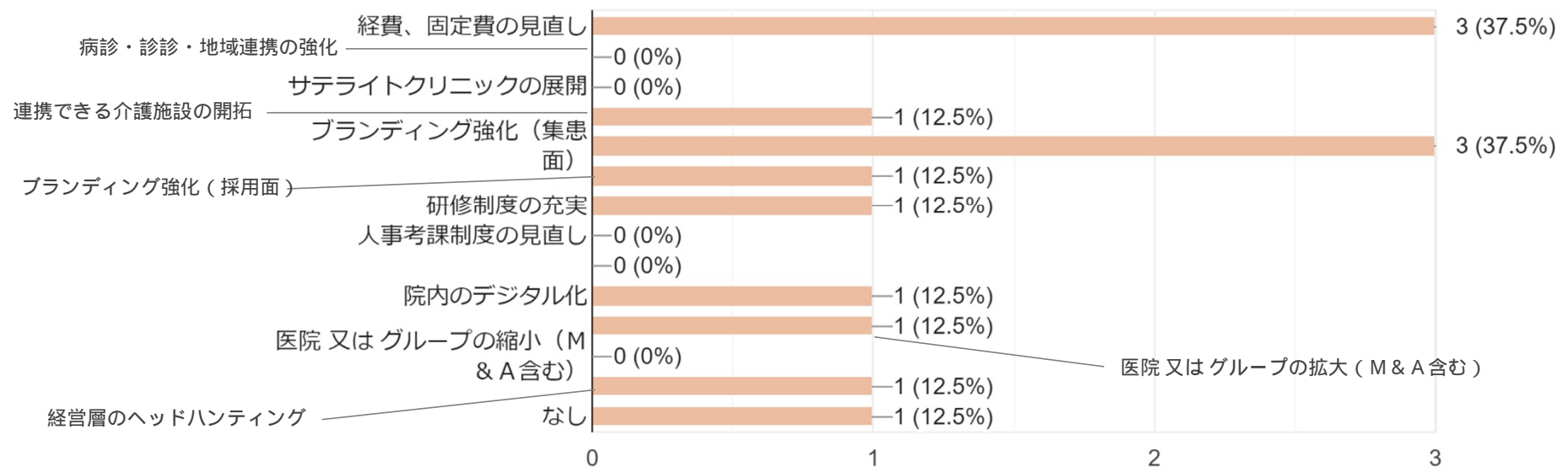
集計結果（クリニック）



CB | CONSULTING

取り組みを予定している。又は、取り組んでいるけど進捗が芳しくない対策をお答えください

8 件の回答



既に取り組んでいる対策と同じ、
「経費・固定費の見直し」「ブランディング強化（集患面）」高い回答率となる。
対策として取り組んでいるものの、進捗が芳しくないことが予想される。

また「病院・診診・地域連携」の回答が0ということから、
集患面において今後も横の繋がりを重視していないことが予想される。

病院

- ・コスト増加に対し、経費や固定費の見直しを行うも対策しきれていない状況が目立つ。
- ・コスト増加の中でも人員数は不足しており、今後も病院のコスト増加は続く流れ。
- ・患者減少を受け患者獲得に対する動きあり。病診・地域連携の強化に乗り出す病院が増加。特に180床以上の病院で、その動きが多く見られる。
- ・ブランディング強化（集患,採用ともに）について、200床以上の病院は大半が見直しを検討しているのに対し、200床未満の病院は大半が見直しを必要と感じていない。
- ・働き方改革について、180床以上の病院は29%が見直しを検討しているのに対し、180床未満の病院で見直しを検討しているのは6%程度。

クリニック

- ・患者減少によって人員体制が過剰となり、生産性が低下している可能性あり。
- ・コスト削減、ブランディング強化による集患対策、この2点に焦点が絞られている傾向。
- ・集患対策にて、病診連携や地域連携の強化を考えているクリニックはほぼ無し。横の繋がりに期待せず、独自の集患方法を模索していることが予想される。
- ・今後においても、地域連携の強化を集患対策と考えるクリニックは少ない。

C B グループ概要



会社名 株式会社 C B コンサルティング
事業内容 医療・介護・福祉業界に特化した経営支援
所在地 〒105-0013 東京都港区浜松町1-10-11 VORT浜松町 7階
代表者 代表取締役 藤本 進

グループ会社情報



会社名 株式会社 C B ホールディングス
設立 1999年7月1日
所在地 〒105-0013 東京都港区浜松町1-18-16 住友浜松町ビル7階
代表者 代表取締役 鈴木 尚之



会社名 株式会社 C B パートナーズ
事業内容 医療・介護・福祉業界に特化したM&A支援
所在地 〒105-0013 東京都港区浜松町1-10-17 KOYO BUILDING 8階
代表者 代表取締役 井上 陽平



会社名 株式会社 C B アドバイザリー
事業内容 医師・薬剤師向けの開業支援
所在地 〒105-0013 東京都港区浜松町1-10-17 KOYO BUILDING 8階
代表者 代表取締役 大西 望



会社名 株式会社 C B メディカル
事業内容 医療機関・福祉施設に対する経営支援
所在地 〒105-0013 東京都港区浜松町1-18-16 住友浜松町ビル1階
代表者 代表取締役 廣渡 弘美

最後までご覧いただき誠にありがとうございました。
ご不明な点や詳細な情報などお気軽にお問い合わせください。

株式会社 C B コンサルティング
事業開発支援部

〒105-0013
東京都港区浜松町1-10-11 VORT浜松町 7階
東京本社
TEL : 03-6430-3903
FAX : 03-6430-3920
Mail : ml-cbo-bp@cbconsulting.co.jp



あなた以上に、あなたの想いを実現する

CBコンサルティングは、
専門性と人間らしさでお客様の想いを実現し、
医療・介護・福祉業界の持続性に寄り添い続けます。